

やまと得々ニ情報

第77号 2002年 12月2日

大和木材株式会社

〒891-1104 日置郡山町油須木 1299-1 番地

Tel 099-245-7048 Fax 099-245-7058

URL ; <http://www.synapse.ne.jp/~yamato-kk/>

Eメール ; yamato-kk@po.synapse.ne.jp

建設関係 厳しさを増す！

2日、県庁に於いて「木材流通情報対策協議会」が開催されました。本会議は一般経済事情に精通する、鹿児島地域経済研究所や、建築士会、それに素材から製品、加工に係わる木材関連業者等が集まり、年2回程、情報を交換し県の施策に生かしてもらおうというものです。

今回、県内全般の経済状況として、底入れ感はあるものの上向きとはいえない。焼酎や電子部品関係が良いだけで他の分野は厳しい状況が続いているということです。特に建設関連におきましたは、公共工事の発注が、件数、金額ともに前年を下回る状況が続き、民間建築工事に於いても全般的に件数が少なく、受注競争が続いているということで、無理な受注による下請けへのしわ寄せも心配されております。木材関係も住宅建設の不況から製材品の生産・出荷ともに低調で推移しています。ただ、原木は供給減からやや強含みとなっています。

木材の乾燥については、市場取扱の10%以下ではあるが、少しずつ増えています。ただ、乾燥に対する認識の不足からか、性能はKD20(含水率20%)の製品要求に対して、予算はグリーン(未乾燥)材で見て、納期は自然乾燥ではとても間に合わない期間という、建設業者、納入業者泣かせの工事が多いということが指摘されました。

また寸法の安定を追及して、KD材が求められるわけですが、既報(第68号)「KD材って、何のことでしょう?」でお知らせしましたように、含水率30%を切ってから寸法の収縮はおこるのです。含水率20%の材を使っても暖冷房等の使用で室内環境が平衡含水率(鹿児島県の年間平均平衡含水率は17%位)20%以下になるとやはり寸法変化はおこるのです。逆に平衡含水率が20%を超えた場合はふくらみがおこります。さらに、板目方向、柾目方向、繊維方向でその収縮の大きさは10:5:1となります。従って、2Mの鴨居(45×105)の中が1mm変化したときの厚みは0.2mm、長さは2mm程変化します。この事は、設計士さんや施主様に十分ご理解しておいていただかないとクレームに繋がります。

従って、我々木材関係者は、木材の性質についてもっと理解を求める活動をしなければならないのではないのでしょうか。

【情報】

丸太が少なく若干強含みになっております。従って、小割り材(棧、野小舞、垂木、板)を中心に品薄感が出て、高めになっております。材料の手当てはお早めにお問い合わせいたします。

【定休日】 12月は1, 8, 14, 15, 22, 29, 30, 31日となります

1月は1, 2, 3, 4, 5, 12, 16, 19, 26日となります

ご協力お願いします。



(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)